

2011年度 学生プロジェクト年間活動報告書【3月号】



プロジェクト名称 【参加人数: 66名】

大宮駅東口商店街イルミネーション化計画
URL: http://www.itailab.se.shibaura-it.ac.jp/omiya_illumi_hp/

活動概要・目的 【活動期間: 2011年4月13日～2012年1月5日】

商店街活性化を目的としている活動団体です。2006年度から始まり、今年で6年目となります。徐々に成長を重ねてきました。今年度は「願い星～天の川～」をテーマとし、第三者に対してのアプローチを行っていきます。また、今年度も商店街と連携したイベント活動等の充実を行い、学生と商店街の関係のさらなる緊密化と商店の活力向上を目的とした、まちづくりを行っております。

年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
4/13	話し合い	大学 ゼミ室	今年度のイルミネーションのメンバーと役割を決定・昨年度のイルミネーションの反省。
4/20	話し合い	大学 ゼミ室	方針について「他人実現」と「集中」・アイデアコンペの要項決め。
4/30	話し合い	大学 ゼミ室	今年度のイルミネーションのタイトル決め。
5/11	話し合い	大学 ゼミ室	今年度のイルミネーションのタイトル決め。
5/20	話し合い	大学 ゼミ室	アイディコンペおよび「FACE TO FENCE」とのコラボについての方針決め。
5/30	アイデアコンペ実施	大学 ゼミ室	イルミネーションコンペの講評会。
7/5	アイデアコンペ実施案決定	大学 ゼミ室	商店街の方に来研して頂き、イルミネーションコンペの講評を頂き、今後の方針やスケジュールの話合い。
7/12	広報活動の準備	大学	今年度の方針の確認およびHPの作成。
7/23	現地調査	大宮東口商店街	電柱の位置・街灯の位置・信号機の位置・非常階段の位置・設置候補地の選定調査。
8/5	大宮アルディージャ主催震災復興イベント	大宮東口商店街	大宮アルディージャの方々と商店街に飾る飾りを作成。
8/10	イルミネーション実験	大宮東口商店街	モックアップを作成し、イルミネーションデザインの実験。
8/29	話し合い	大学 ゼミ室	実現に向けて設置方法などの詳細を検討。

2011年度 学生プロジェクト年間活動報告書【3月号】



年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
9/13	イルミネーション点灯実験	大学 学内	イルミネーションの見え方・光量による検証を行った。
9/21	話し合い	大学 ゼミ室	既存の製品を利用して流れのあるイルミネーションをつくるために話し合いを行なった。
9/30	話し合い	大学 学内	実現に向けた予算と方法の再考を行った。
10/8	イルミネーション安全性実験	大宮商店街	安全性を考慮し、耐久実験を行った。
10/17	大宮フリーマーケット	大宮商店街	大宮フリーマーケット2011に出展者として参加。イルミネーションプロジェクトの内容と12月に行う点灯式のPR活動を行った。
10/22・ 23	まちづくり交流展	志木市	建築学会主催の志木市で行われた地域交流展に参加し、イルミネーションのPR活動を行った。
10/25	イルミネーション安全性実験	大学 学内	前回の実験から素材を改善し、より安全を確保するための実験を行なった。
11/2	話し合い	大学 ゼミ室	「天の川」に使用する金網の安全面を考察し、改良を加えた。
11/7	イルミネーション最終確認実験	大宮商店街	商店街の方の同伴でイルミネーションの点灯実験を行い、商店街の方々と最終確認を行った。
11/17 ～ 11/20	イルミネーション製作作業	大学 学内	これまでの計画に基づき、設置前にイルミネーションの製作作業を行った。
11/22 ～ 11/26	イルミネーション設置作業	大宮商店街	製作したイルミネーションの設置作業。学生66名で商店街中に設置を行った。
12/2	点灯式	大宮商店街	大宮商店街において、地域の方々に見守られながら点灯式を無事迎えた。大宮アルディージャ関係者や大宮区長も参加した。
12/9	イルミネーション点検	大宮商店街	イルミネーションの漏電や破損部位は無いか点検し、修繕を行った。
12/24	イルミネーション点検	大宮商店街	イルミネーションの漏電や破損部位は無いか点検し、修繕を行った。
1/5	イルミネーション撤去作業	大宮商店街	12月より行ってきたイルミネーションの撤去作業を行った。



プロジェクトの成果・結果・達成度・関係者からの評価

震災の影響により、計画当初は規模の縮小などを検討しましたが、「他人実現(おもいやり)」と「集中」をプロジェクト目標とし、節電などに工夫を凝らした「天の川」と名付けたイルミネーションは、駅前から銀座通り奥の大栄橋まで、人々を導く光となりました。お花見や花火大会といった、季節の風物詩が中止され、四季の移ろいを地域の人々と分かち合い、楽しむことが難しい中で、商店街を利用する人々や商店街の方々から、「今年もイルミネーションの光の知らせにより、冬の訪れを感じる事が出来て良かった。」など、企画を継続し、風物詩として大宮を淡く照らす事が出来たことに、感謝の言葉を多く頂くことができました。

受賞・メディア取材(新聞、広報誌、TV等)

TOKYO WALKERイルミネーション特集、大宮アルディージャ公式HP、ザ・しょうてんin大宮

プロジェクト活動を振り返って(チームとして成長したこと、感動や印象に残っていること、反省、今後の展望について)

■チームとして成長したこと

- ・例年より少ない人数であったが、常に情報を共有することで、効率良く作業を行うことが出来た。
- ・設置個所を限定することで、視覚的に効果的な演出が出来た。
- ・「FACE TO FENCE」実現化計画とコラボレーション企画をおこなうことで、小学生を対象としたまちづくりを学ぶことが出来た。
- ・地域のまちづくり新聞に積極的に記事を掲載することで、地域活性化という活動の根幹を再認識することが出来た。
- ・現場作業中も商店街の方々に頻りに声を掛けて頂き、活動が地域に浸透していることを強く実感することが出来た。

■感動や印象に残っていること

- ・大宮で行われたフリーマーケットに参加した際、ご高齢の方に「大宮がイルミネーションでライトアップされると、新婚旅行の記憶が蘇り、暖かい気持ちになる」と言われたことが、代表として企画を運営している中で、一番感動致しました。
- ・志木市で行われたまちづくり交流展に参加した際、介護施設の方に「志木市でも学生が活発に待ちの中で活動して、イルミネーションでお年寄りのまちを活気づけてほしい」という言葉を頂き、学生が待ちの中で元気にふるまうことの重要性を感じました。

■反省、今後の展望

- ・今年度制作したイルミネーションをさらに更新しながら、来年度も商店街と共に成長した「大宮らしい」イルミネーションをつくっていきたいと思います。
- ・銀座通り商店街の街灯の新設に伴い、今までとは異なるアプローチを検討したい。
- ・製作段階における地域商店街の積極的な参加を促す行程・企画の提案。
- ・経年劣化によるLEDの点検および現在保有している総量の把握。

大宮駅東口商店街イルミネーション化プロジェクト 2011 活動写真

12/2 点灯式風景



今年度のイルミネーションの風景



イルミ×フェンスコラボ



企画



会議



調査



実験・検討



製作



施工

